地震の揺れ等がおさまったら、家族や近所の人と協力して、倒れた建物や家具の下敷きになった人を救出したり救護しよう。

この地区は自主防災組織があって防災訓練をやっているので、みんなで助け合って災害対応ができるから心強いわ。

みんなで地域を守る「共助」ね。身体の不自由な人、お年寄りや赤ちゃんのいる家など、地域で助け合わないとね。

防災学習Point 08

自主防災組織を設立しよう

大地震等の災害時は、地域の協力が重要です。阪神・淡路大震災の調査結果では、建物等の倒壊で生き埋めや閉じ込められた人の約8割が、家族や友人、隣人に救出されています。

地域の住民が話し合い、いざという時に避難の呼びかけ・誘導、救出・救助、初期消火、避難所の運営などを行う自主防災組織の設立と活動が注目されています。

仕事や学校で家族が別々の場所にいる時に災害にあったら、連絡はどうするの？

災害の時は、電話をかけても回線が混みあってつながりにくいわ。電話をかけて話そうとするより、メールなどを送る方がつながりやすいのよ。

家の玄関に貼紙をしておけば、後から来た人が分かるわね。

自分の「無事」を知らせる、災害用伝言ダイヤル「171」などの安否確認ツールの使い方も確認しておこう。

防災学習Point 09

安否確認方法を決めておこう

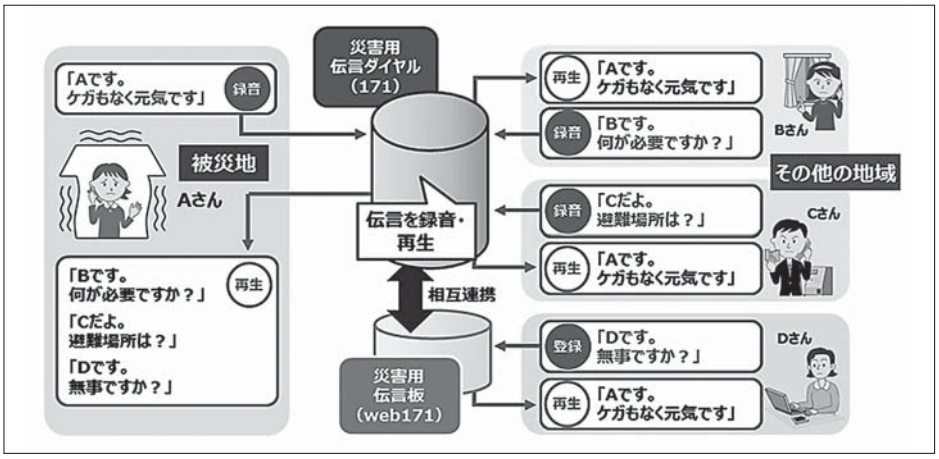
災害時は、電話等の通信機器が使用できない場合があります。家族の安全を確認する方法や、集合場所を決めておきましょう。

心ちゃん、防災について勉強になったかな？

災害は、繰り返しおこる。地震は、いつ発生するかわからない。だから普段からの備えが大切なんだ。

これからも、家族や地域の人と協力して災害に備えるわ。

災害用伝言ダイヤル利用イメージ



山武郡市合同シェイクアウト訓練

と　き　9月1日（水）　午前10時から1分間

想　定　震度6強の地震発生（地震発生（訓練開始）を、防災行政無線や緊急速報メール等でお知らせします。）

- シェイクアウト訓練とは住民等がいっせい参加し、指定された日時に統一した安全行動を行う防災訓練です。
- 揺れが収まるまでの間での「身を守るための3つの安全行動」を素早くとれるようにしましょう。
- それぞれのご自宅や職場、外出先などで地震から「身を守るための3つの安全行動」を約1分間行ってください。